

## 薬物乱用防止講話を実施しました

(2022. 06. 24)

岐阜中警察署 組織犯罪対策課 課長 勝村 紀哉様にご来校いただき、「薬物乱用防止講話」を実施しました。薬物の恐ろしさを感じられるDVDを視聴し、大麻はゲートウェイ・ドラッグと言われ、若者にとって罪悪感が薄く、手を出しやすい存在であり、大麻から中毒性の高い覚せい剤、MDMAなどに手を染める危険性を丁寧に講話の中で話をさせていただきました。

薬物以外にも高校生が手を染めやすい組織犯罪である、オレオレ詐欺や受け子の存在、アルバイトを探す中で、高収入に気をひかれますが、簡単に儲かる仕事はありません。と社会の中での危険性についてもご説明いただきました。そして、正義感のある人は是非警察に応募して活躍してほしい。」と激励をいただきました。



講師 岐阜中警察署 組織犯罪対策課  
課長 勝村 紀哉 様



教室の様子（オンラインで配信）

### 生徒の感想

DVD鑑賞して大麻、覚せい剤などの薬物はとても恐ろしいものだと思います。薬物を使うと人が変わってしまうようになるんだと思いました。仮に友人に誘ってもらっても絶対に断らないといけないと思いました。少しの好奇心とか薬物に手を出してしまったら後戻りはできないし、大変なことになるので絶対に手を出したくないと思いました。今日の講話を聞き大麻は身近にある危険だと思います。（3年女子）